

患者・市民の意見

【説明書案について】

ふりがながあって良かった（12歳）

臨床検査技師とは？（50代、男性）

「～通常の保険診療となります」の説明は見直してほしい（72歳、女性）【類似意見複数】

採血前には短くても待ち時間があるのでその時に読んでもらう（パンフレットにする、ディスプレイで流す）は良いアイデア（44歳、男性）

専門用語で言われるとわかりづらい、特に血管迷走神経反応（71歳、女性）【類似意見複数】

「該当する患者」を深刻な順番に並べるなど、深刻さがわかるようにしてほしい（40歳、男性）

不安になり採血したくない気分も起きそう（56歳、女性）

リスクの説明は大事、全員が知っておくべきことと思う（24歳、女性）

より平易な言葉を使ったほうが良いと思う（49歳、女性）

1万～10万回が一体どの程度なのかイメージがつかない（45歳、女性）【類似意見複数】

帰宅後にも体調変化があるかもしれないので、持ち帰ってもらえるようにしたら良い。帰宅後の連絡先が書かれているとよい。（60代、女性）

【説明書以外について】

わからないことは質問できるとよい（45歳、女性）

以前、採血で気分が悪くなったことがあるが、採血室では多くの患者が待っているのので、その後の採血時に申し出るのはためられる。（44歳、男性）

説明文書を読むだけでは理解できない人や、間違っって受け取る人もいると思う。適宜、人が説明することも必要と思われる（44歳、女性）

採血をしたときに、これまでこのような注意を見たことも聞かれたこともなかった（60代、女性）